

平成28年度 事業計画



学校法人 加計学園

御影インターナショナルこども園

MIKAGE INTERNATIONAL KINDERGARTEN

「Be a Global Japanese! 一流の日本人になれ！」をコンセプトに、0歳児～5歳児の乳幼児を対象とした教育保育を行っています。

併設：御影小規模保育ルーム(神戸市小規模保育事業)

併設：M-KISS (学童保育事業)



御影インターナショナルこども園は、開園3年目の今年、完成年度を迎えました。本園は、特色ある「MIK教育プログラム」「英語イマージョンプログラム」「生活プログラム」の3つの柱によって、それぞれの個性を伸ばしながら発達段階に応じて生きる力を育み、小学校での生活や学びに繋げていきます。

日本人としてのアイデンティティを身につけ、世界中の人たちと友だちになれる人材を育てるという教育方針のもとで、教育保育内容の一層の充実を図って参ります。

また、M-KISS、小規模保育ルームにおいても、保護者のニーズに合った教育保育に取り組みます。

今年度、特に以下の項目において重点的に具体的に取り組んでいきます。

- ① 保小連携
- ② 他園（幼稚園・保育所等）との連携
- ③ 施設設備の充実
- ④ 財務改善

御影インターナショナルこども園園長 西原 豊子

御影インターナショナル こども園

■教育活動計画

1. 0-1歳児

情緒の安定を第一に考え、保護者との連携を密にし、家庭生活とのバランスを取りながら保育を行います。1歳児からは石井式漢字教育を取り入れ、国語教育の礎を養います。

2. 2歳児

前述の保育内容に加え、プレイマージョンとして歌、体操、絵本読み聞かせなどについて積極的に英語を使った保育を行います。

3. 3-5歳児

英語イマージョンプログラムを行います。専任の担当者が、日々作成したプログラムに沿って、英語ネイティブ教員と日本人保育士がペアでクラスを運営します。

昨年度初めて4歳児がCambridge Exam, Starters (ケンブリッジ国際児童英検スターターズテスト)を受験しました。今年度以降は、4-5歳児が受験し、達成度を確認します。

3歳児からは外部講師を招聘し、絵画造形、運動(サッカー)、論語のクラスを定期的に行い、園児たちの興味と関心を広げ、大きく育てています。

■他園との連携

近隣の幼稚園や保育園との園児交流を行い、子ど

も同士がふれあう機会を充実させ、人と繋がる力を育んでいきます。

■保小連携

今年度は完成年度を迎え、来春、一期生が卒園するため、より一層、近隣の小学校との情報交換を図っています。卒園後の進学に対する保護者のニーズに応えるため、更に保小連携に取り組みます。

M-KISS

■教育活動計画

今後も安心できる放課後支援の場として、地域の学童待機児童の受け皿として事業を展開します。英語イマージョン教育の学習効果を高め、シームレスな授業を展開するため、同レベルの児童が共に学ぶことができる環境を整えていきます。

具体的には、イマージョンプログラムにおける新単元の授業日と復習を中心とした授業日を明確に設定することを検討しています。

御影小規模保育ルーム

■保育活動計画

1. 0-1歳児

健やかな生活を確立できるよう環境を整えるとともに、健康や安全など日常生活に必要な基本的な習慣や態度が身につけられるよう働きかけていきます。1歳児からは、石井式漢字教育を取り入れ、国語教育の礎を養います。

2. 2歳児

前述の保育内容に加え、様々な体験ができる環境を整え、子どもの思いに共感しながら、豊かな感性を育むよう働きかけていきます。

■他園との連携

近隣の保育施設との園児交流を行い、子ども同士がふれあう機会を充実させ、人と繋がる力を育んでいきます。

■地域との連携

地域社会の一員であることを自覚して、地域の方々との触れ合いを深め、関係機関とのネットワークを通じ、連携をしていきます。

社会連携・社会貢献

■地域への貢献

月1回の園庭開放日を設け、地域の子育て家庭に門戸を広げます。また、子育て講座や食育講演会など地域の方を対象とした行事を行います。

地域の自治会と連携し、老人会との交流を図る機会を作ります。

■地域活動への参画

地域の清掃活動や、神社の行事に積極的に参加し、地元との交流を深めていきます。

■ボランティア活動、就業体験受入

昨年度、地域ボランティアの皆さんに、しめ縄づくりや餅つきなどの行事に協力をいただきました。今年度も、積極的に園行事への協力をいただきます。

近郊の大学からは、保育士を目指す就業体験学生の受け入れを行っており、今年度以降も継続します。

中学生が職場体験、福祉体験、勤労生産活動を行う兵庫県独自の事業「トライやる・ウィーク」についても、平成28年度も就業体験生徒の受入を継続して行います。

環境整備

■施設の充実

現在、園庭の大型遊具は一台のみですが、今後、年次進行で園児増が見込まれます。今年度、大型遊具を追加導入し、子どもの外遊びの充実を図ります。

■図書 の 充 実

保育士の読み聞かせや子どもたちが読書に親しむための絵本などの、児童・幼児用図書の充実を図ります。

■安全管理、健康管理

乳幼児や小学生の安心安全を担保する為、職員全員が、施設・遊具等の安全管理、感染症の予防などの健康管理を徹底します。担任は子どもの健康管理について、保護者との情報の共有に努めます。

■職員研修

園内研修については、必要に応じて外部講師を招聘し、計画的に実施していきます。園外研修についても、職員の派遣を積極的に行い、保育士の能力向上に努めます。

園児の受入

■園児・児童の受入方針

家庭によってお子さまの子育ての方針は、様々です。御影インターナショナルこども園及び M-KISS については教育保育方針・目標などの内容を十分に理解したうえで、入園していただきます。

御影小規模保育ルームは認定施設のため、神戸市からの割り当てにより入園者を受け入れます。

■入園説明会・園庭解放

御影インターナショナルこども園では、体験型の入園説明会や月1度の園庭開放などで、園の方針を説明し、保護者の方のお子さまの教育保育に対する思いとミスマッチが生じないように努めます。

また M-KISS では、施設や学童保育内容などに納得いただくため、随時見学を個別に受け付けています。

御影小規模保育ルームについては、神戸市へ支給認定手続き及び利用申込みの提出の際に、多くの入所希望者を選択いただけるよう、随時個別見学を受け付けています。

■広報活動

- (1) 地元広報紙への広告掲載
- (2) マスメディアへの園行事の取材依頼
- (3) 駅構内等の看板設置
- (4) 近隣住宅へのチラシ配布
- (5) 異業種（こども写真館、小児科医、スーパーマーケット、子育てサークル等）への働きかけ
- (6) 在園児保護者の満足度

保護者の評判が募集の大きなポイントになることを職員一人一人がしっかりと自覚します。今年度より保護者会を発足させ、保護者との連携を図ります。

主な行事予定

4月2日	入園式
5月14日	親子のつどい
6月第3週	保育参観・個別懇談
7月最終週	夕涼み会（地域・保護者参加）
9月8日	地域老人会交流
9月15日	祖父母参観日
10月8日	運動会
10月31日	ハロウィンパーティー
11月10日	七五三詣り（弓弦羽神社）
11月19日	保育参観・クラス懇談会
12月17日	みんなの発表会（乳児）
12月22日	クリスマス会
1月6日	お餅つき
2月18日	みんなの発表会（幼児）
3月18日	卒園式

その他行事

園庭開放（毎月）、入園説明会（7月～12月）、
誕生日会（毎月）、遠足（3回／年）、初詣、
音楽会（2回／年）、科学教室（関連校連携）、
子育て講座（地域・保護者向け）

財務関係

■施設設備計画

（単位：千円）

事業名	金額
加計保育施設2用途変更に伴う改修工事	11,124